人も地球も健康に

Yakult

株式会社ヤクルト本社

第67期 株主通信

2018年4月1日 ～ 2019年3月31日

掲載内容

01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト

03 セグメント別業績概況

07 連結財務諸表

11 コラム ヤクルトグループのCSR活動
第2回ジャパン「SDGsアワード」において
「SDGsパートナーシップ（特別賞）」を受賞

13 商品紹介

19 ヤクルトのネットワーク

21 会社情報

特集

09 ヤクルト届けてネット

ごあいさつ

代表取締役社長
根岸孝成

平素は格別のご高配を賜り、あつくお礼申しあげます。

ここに、2018年4月1日から2019年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申しあげます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申しあげます。

2019年6月

企業理念

私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

当期について

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界経済や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、国際事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

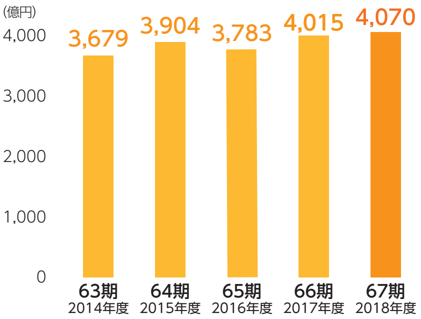
この結果、当連結会計年度の連結売上高は4,070億円(前期比1.4%増)となりました。利益面においては、営業利益は458億円(前期比5.5%増)、経常利益は571億円(前期比7.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は349億円(前期比2.6%増)となりました。

次期について

日本国内における乳製品につきましては、引き続きヤクルト類を最重点ブランドとし、「乳酸菌 シロタ株」の科学性を訴求するとともに、地域密着での「価値普及」活動を推進し、さらなるブランドの活性化を目指します。宅配チャネルにおいて、「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」を中心にエビデンスに基づく「価値普及」活動の強化および研究開発・技術力の訴求に

連結業績ハイライト

●売上高



より、さらなるブランドの活性化を図ります。また、店頭チャネルにおいては、「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーハーフ」を中心に、視認性の向上および機能性の訴求に加えて、プロモーションスタッフによる試飲宣伝販売活動を通して、さらなる売り上げの増大を目指します。

海外につきましては、既存事業所のさらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。特に、ベトナム、インド、中国、米国および中東地域などの事業所については、経営基盤の強化と事業の成長を推進していきます。ミャンマーにおいては、事業開始に向けた準備を進めていきます。

医薬品につきましては、本年10月に予定されている薬価基準改定での薬価引き下げの影響により、減収となる見込みです。さらに、当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」は、今後も後発医薬品への切り替えが進むことは避けられない状況です。しかしながら、先発企業として培ってきた情報提供力を基盤とした提案型営業と、これまで築きあげてきた医療関係者との信頼関係により市場を拡大させる活動を展開し、売上目標の確保を図ります。また、本年6月に販売開始を予定している後発医薬品の円滑な市場導入を図り、売り上げの増大に努めます。

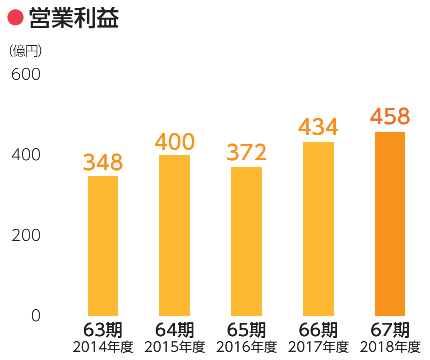
	当期	次期の見通し
売上高	4,070億円（前期比 1.4%増）	4,200億円
営業利益	458億円（前期比 5.5%増）	485億円
経常利益	571億円（前期比 7.7%増）	595億円
親会社株主に帰属する当期純利益	349億円（前期比 2.6%増）	365億円

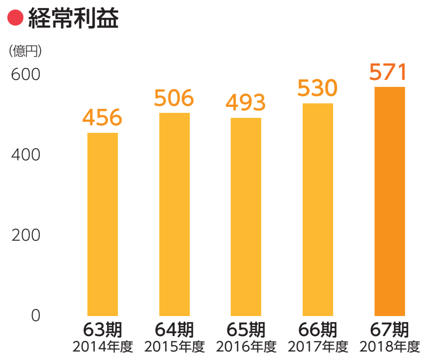
配当について

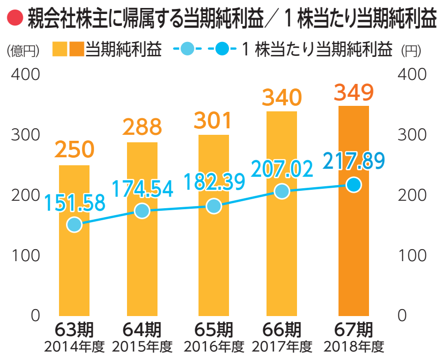
当社は、株主の皆さまに、安定的な配当を継続して実施していくことを最優先とするため、配当金額のベースを年額30円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績等を総合的に勘案して配当金額を決定しています。

上記の方針のもと、継続して株主の皆さまへの利益還元を図るため、2019年3月期の年間普通配当金額は、前期に比べて1株当たり10円増配の年額44円としました。すでに中間配当金20円を実施していますので、2019年3月期末の配当金については24円となります。

また、次期の配当については、上記方針のもと、安定的な配当の継続的な実施に加え、株主の皆さまへの利益還元の強化を図るため、当期に比べて1株につき2円増配の年額46円を予定しています。



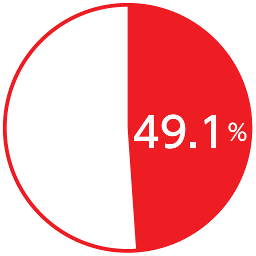




Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門（日本）

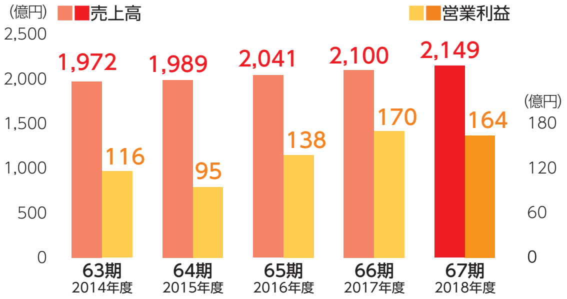


売上高構成比

当期

売 上 高
2,149 億円
（前期比： 2.3% ↑）

営業利益
164 億円
（前期比： 3.5% ↓）



乳製品につきましては、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」や「ビフィズス菌 BY株」などの科学性を広く普及するため、エビデンスを活用し、地域に根ざした「価値普及」活動を積極的に展開しました。

宅配チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」について、「ヤクルト400」が本年1月に発売20周年を迎えたことを機に、改めてお客さまへの飲用促進を図りました。また、昨年9月から全国展開したインターネット注文サービス「ヤクルト届けてネット」を活用し、新たなお客さまとの接点づくりを強化しました。

店頭チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーハーフ」について、昨年7月には「2018プロ野球応援フェア」を、本年2月から3月にかけては消費者キャンペーン「つづけて実感！ヤクルト キャンペーン」を展開し、さらに3月には同商品のデザインリニューアルを実施しました。また、「乳酸菌 シロタ株」と5種の栄養成分を配合した乳製品乳酸菌飲料「ヤクルトファイブ」を本年3月に発売するなど、ブランドの活性化を図りました。

清涼飲料につきましては、当社の発酵技術を活かした乳酸菌はっ酵果汁飲料「ヤクルトのおいしいはっ酵果実」の販売を強化するなど、健康飲料を中心に売り上げの増大を図りました。

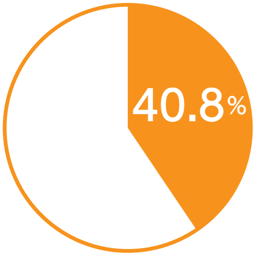
News & Topics 2019

世界の乳製品1日平均販売本数が“4,000万本”を突破

乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」をはじめとする乳製品は、現在、日本を含むアジア・オセアニア、米州、欧州の世界39の国と地域で愛飲されています。2019年3月期、「ヤクルト」をはじめとする乳製品の1日平均販売本数は、国内で954万本、海外で3,113万本となり、合計で4,067万本となりました。年間で1日平均販売本数が4,000万本を超えたのは創業以来初めてのことです。

Yakult豆知識●その1
当社が実施している出前授業・健康教室が食育活動として評価され、一般社団法人日本食育学会「食育推進企業・団体」に認定されました。（認定期間：2019年4月1日～2020年3月31日）

飲料および食品製造販売事業部門（海外）



売上高構成比

当期

売 上 高

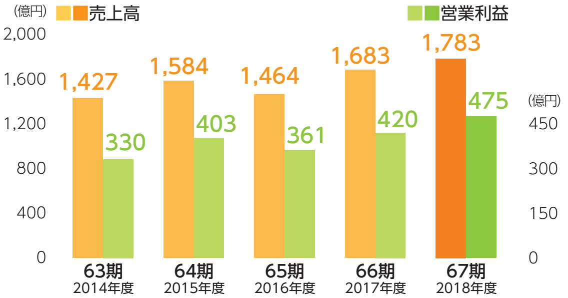
1,783 億円

（前期比： 5.9% ↑）

営業利益

475 億円

（前期比：13.0% ↑）



米州地域

売上高 489億円（前期比：2.5% ↓）

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

同地域では宅配・店頭の両チャネルにおける販売体制強化を図り、売り上げの増大に努めました。

アジア・オセアニア地域

売上高 1,207億円（前期比：10.0% ↑）

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

中国においては、「ヤクルト」などの販売本数増加に伴い、本年3月には佛山工場(広州ヤクルト株式会社)、6月には無錫工場(無錫ヤクルト株式会社)敷地内の第2工場棟において生産を開始しました。

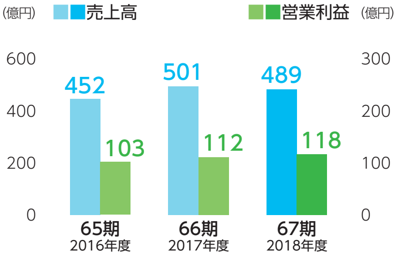
ミャンマーにおいては、「ヤクルト」の製造、販売開始を予定し準備を進めています。

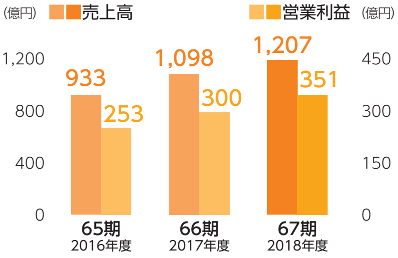
ヨーロッパ地域

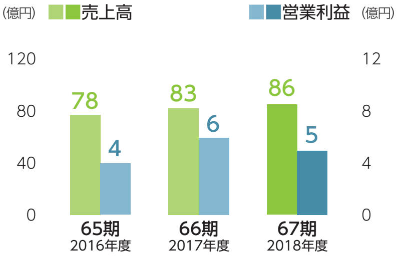
売上高 86億円（前期比：4.0% ↑）

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

ヨーロッパにおいては、プロバイオティクスを普及するための活動に対する厳しい規制の中で、健康強調表示(ヘルスクレーム)の承認に向け、各種の取り組みを行っています。デンマークにおいては、本年1月から「ヤクルト」の販売を開始しました。これにより、海外進出数については、38の国と地域に販売網が拡大しました。





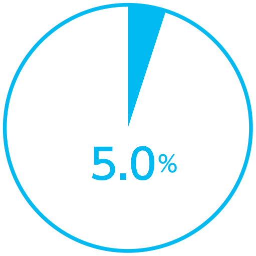


Yakult豆知識●その2

「ヤクルト400」は、創始者である医学博士の代田 稔の生誕100周年と「ナンバーワンのプロバイオティクス商品」への想いを込めて1並びの日(平成11年1月11日)に発売しました。

Financial Result by Segments

医薬品製造販売事業部門

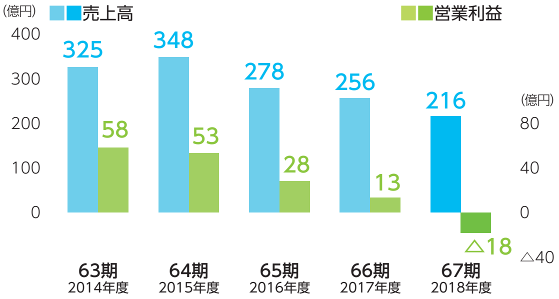


売上高構成比

当期

売 上 高
216 億円
(前期比：15.5% ↓)

営業利益
△ 18 億円
(前期比：　ー　)



医薬品につきましては、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品の啓発活動や適正使用を推奨する活動を推進しました。

抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、医療関係者を対象とした講演会などを積極的に開催し、シェアの維持に努めました。後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力や医療関係者との信頼関係により、引き続き「エルプラット」を選択してもらうための活動を展開しました。また、サノフィ社と共同プロモーション活動を推進した抗悪性腫瘍剤「ザルトラップ®」については、大腸がん領域における浸透のため積極的に情報提供を実施しました。そのほか、後発医薬品の当社主力製品である代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタビン『ヤクルト』」などの販路拡大にも努めました。

研究開発においては、昨年6月にベラステム社(米国)と日本における開発および商業化に関する独占的ライセンス契約を締結したPI3K阻害剤「デュベリシブ」や、4SC AG社(ドイツ)から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」などの開発品目の臨床開発を推進しました。

また、本年2月には新たな後発医薬品として、抗悪性腫瘍剤「カペシタビン錠『ヤクルト』」および「ゲフィチニブ錠『ヤクルト』」の製造販売承認を取得し、6月発売に向けて準備を進めています。

News & Topics 2019

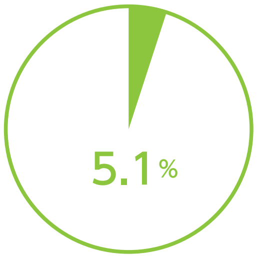
販売・生産体制を充実させ、中国事業を拡大

健康意識の高まりや、プロバイオティクスへの理解が進む中国において、新たに、甘粛省蘭州市、江蘇省南通市、浙江省紹興市に支店を設立し、スーパーマーケット等の店頭で乳酸菌飲料「ヤクルト」および「ヤクルトライト」の販売を2019年6月1日より開始しました。3支店の設立により、中国の販売拠点は46か所となります。また、第2工場棟を建設した無錫工場では、2019年6月1日から乳酸菌飲料「ヤクルト」の生産を開始しました。

無錫工場第2工場棟 外観

Yakult豆知識●その3 「ミルミル」類の新CMに流れている楽曲は、「いきものがかり」がCMのために書き下ろした新曲です。"自分らしく今を生きている人に送る新時代の応援歌"です。

その他事業部門

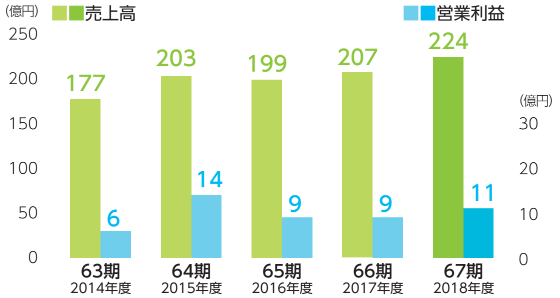


売上高構成比

当期

売 上 高
224 億円
(前期比： 8.0% ↑)

営業利益
11 億円
(前期比：24.3% ↑)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品につきましては、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の「価値普及」活動に重点をおき、お客さまの「内外美容」の実現と化粧品愛用者数の増大に努めました。

具体的には、昨年5月に薬用歯みがき剤「ヤクルト 薬用アパコート S.E.〈ナノテクノロジー〉」をリニューアル発売し、新たなお客さまとの接点拡大を図りました。

また、昨年11月には美容液「ビサイクル リフトリペア エッセンス」を、本年3月には高保湿美白基礎化粧品「リベシィホワイト」シリーズをリニューアル発売し、お客さま満足度の向上と売り上げの増大に努めました。

一方、プロ野球興行につきましては、東京ヤクルトスワローズのクライマックスシリーズ進出に加え、神宮球場において各種イベントやさまざまな情報発信を行うなど、積極的なファンサービスに取り組んだ結果、入場者数が増加しました。

「ラクトデュウ」シリーズをリニューアル発売

ヤクルトの乳酸菌生まれの保湿成分であるS.E. (シロタエッセンス)を配合した化粧水「ラクトデュウ S.E.ローション」を2019年7月8日にリニューアルします。今回、新オリジナル保湿成分である「HBヒアルロン酸(持続型)」を配合することで、さらにうるおいが持続するようになりました。また、お客さまから多くの要望をいただいたことから、「ラクトデュウ S.E.ミルク」を同日、新たに発売します。

Yakult豆知識●その4

本年1月にデンマークで「ヤクルト」の販売を開始したほか、ミャンマーでも事業開始に向けて準備を進めるなど、「ヤクルト」の販売網は世界に拡大しています。

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

単位：億円

科目	第66期 2018年3月31日現在	第67期 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,452	2,476
固定資産	3,817	3,708
有形固定資産	2,011	2,000
無形固定資産	57	47
投資その他の資産	1,748	1,660
資産合計	6,270	6,185
負債の部		
流動負債	1,618	1,154
固定負債	785	1,107
負債合計	2,403	2,262
純資産の部		
株主資本	3,389	3,657
資本金	311	311
資本剰余金	415	417
利益剰余金	3,185	3,477
自己株式	△523	△548
その他の包括利益累計額	132	△84
その他有価証券評価差額金	352	304
為替換算調整勘定	△207	△363
退職給付に係る調整累計額	△12	△26
非支配株主持分	344	350
純資産合計	3,866	3,922
負債・純資産合計	6,270	6,185

連結損益計算書

単位：億円

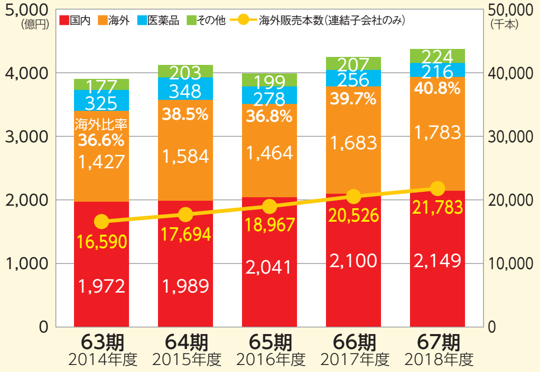
科目	第66期 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで	第67期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
売上高	4,015	4,070
売上原価	1,716	1,711
売上総利益	2,299	2,359
販売費及び一般管理費	1,864	1,900
営業利益	434	458
営業外収益	118	128
受取利息	39	45
受取配当金	18	19
持分法による投資利益	38	35
その他	21	27
営業外費用	22	16
支払利息	6	7
支払手数料	3	4
その他	12	4
経常利益	530	571
特別利益	8	34
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	6	22
その他	0	11
特別損失	3	47
固定資産除却損	3	5
減損損失	0	41
その他	0	0
税金等調整前当期純利益	534	558
法人税、住民税及び事業税	130	152
法人税等調整額	17	3
当期純利益	386	401
非支配株主に帰属する当期純利益	45	52
親会社株主に帰属する当期純利益	340	349

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」を適用し、第66期に係る数値については当該会計基準を遡って適用した後の数値となっています。

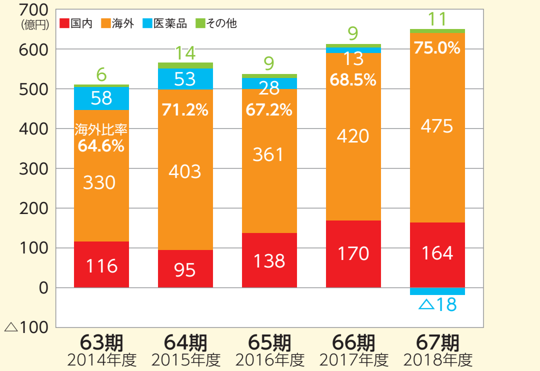
2019年3月期のポイント

1. 全体：増収･増益
 売上高、各段階利益とも過去最高を更新
2. 国内飲料 ： 乳製品、清涼飲料の販売本数は減少したが、生産機器売上の増加により増収、経費増等により減益
3. 海外飲料 ： アジアを中心とした販売本数増および価格改定効果等により増収･増益
4. 医薬品：薬価改定等により減収･減益

売上高推移(連結) (注)セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。



営業利益推移(連結) (注)全社費用等の調整前金額で表示しています。



連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

科目	第66期 2017年4月 1日から 2018年3月31日まで	第67期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
❶ 営業活動によるキャッシュ・フロー	619	621
❷ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△302	△370
❸ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△219	△229
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	108	△27
現金及び現金同等物の期首残高	951	1,059
現金及び現金同等物の期末残高	1,059	1,031

キャッシュ･フローのポイント

❶**営業活動によるキャッシュ･フロー**は、税金等調整前当期純利益558億円、減価償却費212億円があった一方、法人税等の支払額が138億円あったこと等により、621億円(前期比1億円の収入増)となりました。

❷**投資活動によるキャッシュ･フロー**は、主に定期預金の預入や生産設備の増設等による固定資産の取得があったことにより△370億円(前期比67億円の支出増)となりました。

❸**財務活動によるキャッシュ･フロー**は、主に長期借入金の返済や配当金の支払い等があったことにより△229億円(前期比10億円の支出増)となりました。

● より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。
https://www.yakult.co.jp/company/ir/

ヤクルト IR情報 検索

法廷を舞台に
豪華キャストが送る

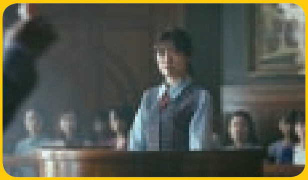
ヤクルト届けてネット

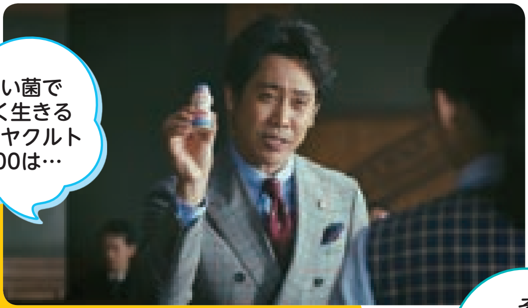
ネットで宅配専用商品をいつでもカンタン注文！

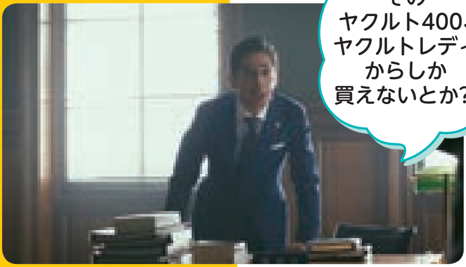
先頃放映した新CM『ヤクルトレディ「異議あり：ネット」篇』
に併せて「ヤクルト届けてネット」のご紹介をします。

裁判長：伊東四朗さん

証人ヤクルトレディ：渡辺麻友さん

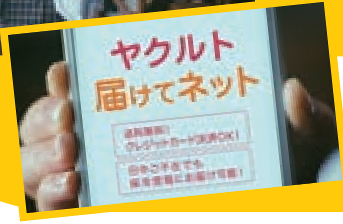






検察官：野間口 徹さん

弁護士：大泉 洋さん



入会金、年会費、
送料（お届け代）
すべて無料！

ヤクルト届けてネット

ネットで宅配専用商品を
いつでもカンタン注文！

［ 4つのポイント ］

- 「ヤクルト400」などの宅配専用商品のご注文
- 日中不在でも保冷受箱をご用意してお届け
- お届け日時カンタン指定
- クレジットカード決済も可能

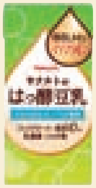
ヤクルト届けてネット 商品ラインアップ

乳酸菌 シロタ株

腸ではたらく

7本
ヤクルト400
宅配専用

甘さ控えめ
7本
ヤクルト400LT
宅配専用


7本
ヤクルトの
はっ酵豆乳

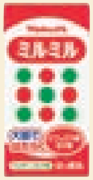
7本
ジョア バラエティセット
[組み合わせ例] いろいろな味

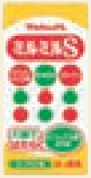
7個
ジョア(食べるタイプ)
バラエティセット
[組み合わせ例] 2つの味

7個
ソフール
バラエティセット
[組み合わせ例] いろいろな味

ビフィズス菌

大腸ではたらく

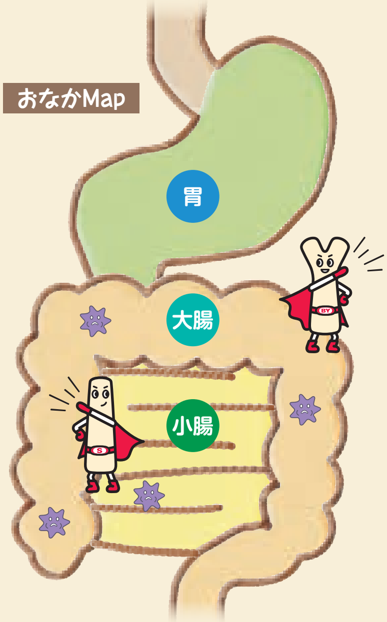

7本
ミルミル


7本
ミルミルS
宅配専用

胃ではたらく

7本
BF-1

おなかMap



強化培養された菌が
胃、小腸、大腸と
それぞれの場所で
はたらきます！

本当にネットで宅配専用商品が
買えるのですね？

店舗では買えない宅配専用商品も
揃えています！

ヤクルト届けてネット
についての
お問い合わせ先は

届けてネット 検索

ヤクルトグループのCSR活動

グローバルカンパニーとしてのヤクルトグループのCSR活動について、
特に個人投資家の皆さまの関心の高い項目（最も頻繁に尋ねられる質問）にフォーカスし、一部をご紹介します。

地域との共生

地域の見守り・防犯協力活動

全国の自治体、警察等と連携して地域の「見守り」や「安全・安心」へのお手伝いを実施

★26,000人のヤクルトレディが878の自治体・警察・消防などと協力して活動（2019年3月末）

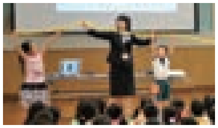
愛の訪問活動

ヤクルトレディが商品をお届けしながら、一人暮らしの高齢者の安否を確認したり、お話し相手になる活動

★127の自治体と提携
2,800人のヤクルトレディが38,000人の一人暮らしの高齢者を訪問（2018年度）

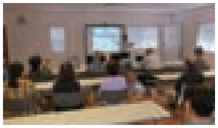
出前授業・健康教室

社員が幼稚園や小学校、公共施設、老健施設、センター（ヤクルトレディの販売拠点）などに出向き、腸の大切さや健康のための生活習慣について説明



★出前授業
2018年度参加者
日本：29万人
海外：316万人

★健康教室
2018年度参加者
日本：37万人
海外：656万人



工場見学の開催

★2018年度参加者
日本：28万人
海外：58万人

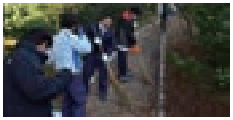
福島工場（見学風景）

ヤクルトグループは、地域と共生し、環境と調和しながらグローバルカンパニーとして、社会的責任を果たします。

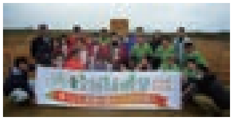
環境との調和

「低炭素社会の実現」、「資源の有効活用」、「生物多様性の保全と活用」の三本の柱を掲げ、環境保全活動を展開しています。

クリーン活動と植林植樹活動



中央研究所周辺遊歩道



全国植樹祭ふくしま2018（植樹）

インドネシア スカブミ工場周辺（植樹）

フィリピン（オイスカ「子供の森」計画・協賛）

公正な事業慣行

コンプライアンスを重視した事業活動ならびに公正・健全な取引の推進に努めています。

サプライチェーン全体でCSR調達の推進

ヤクルトグループでは「ヤクルトグループCSR調達方針」に基づき、取引先と連携・協力しながらサプライチェーン全体でCSR調達を推進しています。取引先に対しては、下記9項目計59問のアンケートを行いその結果をフィードバックし、自主的な取り組みを進めていただいています。

ヤクルトグループ CSR調達方針の柱

1. 法令遵守と国際行動規範の尊重
2. 人権・労働・安全衛生への配慮
3. 安全・安心と品質の確保
4. 地球環境への配慮
5. 情報セキュリティの保持
6. 社会との共生

〈アンケート項目〉 ❶CSR体制 ❷人権 ❸労働 ❹環境 ❺公正な企業活動 ❻品質・安全性 ❼情報セキュリティ ❽サプライチェーン ❾地域社会との共生

第2回ジャパン「SDGsアワード」において「SDGsパートナーシップ（特別賞）」を受賞

ヤクルトグループは、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標に広く関わり企業活動を行っています。
特に関係が深い5つの目標に重点を置いて推進。
これらの活動の成果が**第2回ジャパン「SDGsアワード」**（主催：持続可能な開発目標（SDGs）推進本部※）の**「SDGsパートナーシップ（特別賞）」受賞**につながっています。

※ 政府一体となってSDGsの取り組みを推進する国の実施体制として2016年5月に内閣に設置。内閣総理大臣を本部長、内閣官房長官、外務大臣を副本部長とし、全国務大臣が構成員となっている。

Japan.
Committed
to SDGs

ヤクルトの企業活動とSDGs

3 すべての人に健康と福祉を	5 ジェンダー平等を実現しよう	8 働きがいも経済成長も	12 つくる責任つかう責任 / 13 気候変動に具体的な対策を
健康に役立つ商品の販売・お届けを通じて、一人でも多くのお客さまの健康に貢献します。	ヤクルトレディの労働環境を整備し、女性が活躍する社会の実現を目指します。	事業の生産性を高めつつ、従業員がいきいきと働く会社であり続けます。	原材料の調達から、生産、物流、販売までの事業活動全般にわたって、サプライチェーン全体で、人権、労働、環境、腐敗防止に配慮した取り組みを進めます。

「SDGsアワード」は、2015年に国連で採択されたSDGsの達成に向け、優れた取り組みを行う企業・団体等を表彰する制度です。

今回の受賞は、時代も国境もこえて、「世界の人々の健康で楽しい生活づくり」に貢献する日々の取り組みが評価され、とりわけ「ヤクルトレディ」による宅配は、健康情報の提供などを行いながら商品をお届けする日本発のモデルとして海外へ展開し、健康意識の向上、ひいては海外の就労や女性の活躍などにも貢献するものとして評価されました。

今後も日本を除く38の海外の国と地域に進出している「グローバルカンパニー」として、SDGsの目標17「パートナーシップ」を発揮しながら、SDGsの達成に向けて「世界の人々の健康で楽しい生活づくり」に貢献してまいります。

Products Lineup

ヤクルト

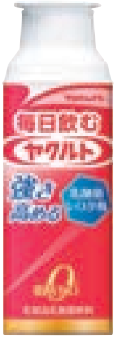
▲New
ヤクルト

▲Newヤクルト
カロリーハーフ

▲ヤクルト
400

▲ヤクルト
400LT

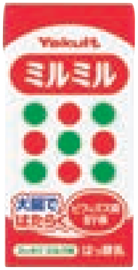
▲ヤクルト
ファイブ



▲毎日飲むヤクルト
(セブン&アイグループ限定)

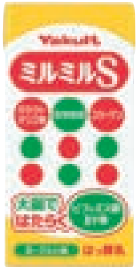
▲シンバイオティクス
ヤクルト W

その他の乳製品



◀ミルミル

大腸ではたらくビフィズス菌 BＹ株を1本(100ml)に120億個以上含んだ、のむタイプのヨーグルトです。程よい甘さでスッキリとしたミルク味に仕上げています。



◀ミルミルS

大腸ではたらくビフィズス菌 BＹ株を1本(100ml)に120億個以上含んだ、のむタイプのヨーグルトです。ガラクトオリゴ糖、食物繊維、コラーゲン、鉄、葉酸などが入っています。すっきりとしたヨーグルト味です。

▼ジョア (プレーン、ストロベリー、ブルーベリー、マスカット)

腸内に生きて到達する乳酸菌 シロタ株が入った、のむヨーグルトです。

▼BF-1

胃ではたらくビフィズス菌(B.ビフィダム Y株)を1本(100ml)に10億個以上含んだ、乳製品乳酸菌飲料です。

プレティオ▶

GABA(γ-アミノ酪酸)を1本(100ml)に10mg以上含む、血圧が高めの方におすすめの乳製品乳酸菌飲料です。

▼ヤクルトのはっ酵豆乳

ジョア▶
(食べるタイプ)
(アロエ、ブルーベリー)

▼ソフール (プレーン、LT、ストロベリー、元気ヨーグルト)

清涼飲料

◀手軽に
蕃爽麗茶
（粉末タイプ）

▲蕃爽麗茶

▲アヤムラサキ

▲爽涼健茶

▲タフマン
（タフマン、タフマンV、タフマンスーパー、
Tough-Man Refresh（タフマン リフレッシュ））

◀オリゴ糖入り
梅ドリンク

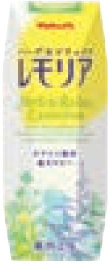
▲黒酢ドリンク

純米熟成黒酢とうめ果汁を組み合わせ、ガラクトオリゴ糖を1本当たり2.5g含んだ特定保健用食品のビネガードリンクです。

▼ぎゅっと健康
（アスタキサンチン、カシス、グルコサミン）

▼ヤクルトのおいしい
はっ酵果実

◀ CHOBI
（チョビ）



レモリア▶

テアニン（緑茶の旨味成分）を含み、レモン果汁と7種のハーブエキスが程良く調和したリラックス飲料です。

▼ヤクルトの乳性飲料
ミルージュ
（Ca125、200、
ミルージュ（500ml））

▼ミルージュ

▼ミルージュ
ソーダ

▼ラックミー
（コーヒー、バナナ）

▼調製豆乳
国産大豆使用

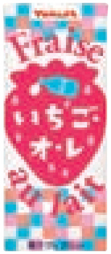
Products Lineup

清涼飲料

▲お茶

▲珈琲たいむ
(ミディアム、カフェラテ、
ブラック)

▲カフェ・
オ・レ



▲いちご・
オ・レ

▲マイルド
(カフェ・オ・レ、
いちご・オ・レ)

▲ココア

▼きになる野菜 (アップル&キャロット、白ぶどう&ほうれん草、
100シリーズ:1食分の野菜 β-カロテン、1食分の野菜 ポリフェノール、
贅沢野菜1日分)

▼野菜ジュース、
野菜ジュース(食塩無添加)

▼トマトジュース
(数量限定)

▼搾りたて
にんじん
(数量限定)

クイックチャージ▶

▼さっぱり
りんご

◀オレンジジュース、
アップルジュース、
パイナップルジュース、
グレープフルーツジュース

完熟王林▶
(数量限定)

健康食品

◀毎日うれしい
ケールの青汁

ごくごく飲める▶
大麦若葉栄養アップ

サプリズム▶
(コラーゲン、フコイダン、ブルーベリー A、
グルコサミン、マルチビタミン＆ミネラル、DHA&EPA)

めん類

▼麺許皆伝
(しょうゆ味、みそ味、しお味、
ソース焼そば、カレーラーメン)

▲佐賀の神埼
(そうめん、ひやむぎ、
中めん、うどん、そば)

▼乾麺物語
(とんこつしょうゆらーめん、カレーうどん、
汁なし担々麺、しょうゆらーめん)

Products Lineup

医薬品

医療用医薬品

▲カンプト

▲エルプラット

▲シスプラチン

▲ゲムシタビン

その他

▲ヤクルトBL整腸薬

▲ヤクルトBL整腸薬S錠

▲アロエ便秘薬

▲I（アイ）のチカラ

化粧品

スキンケア

▲パラビオ

▲リベシィホワイト

▲リベシィ

◀プラチナケア S.E.ローション

ラクトデュウ▶ S.E.ローション

▼ラクトデュウ S.E.ヒアルロン ジェル

▼ヤクルト ビューティエンス ブリリアント ～ザ クリーム～

◀エジティックス モイストリペア エッセンス

ビサイクル▶ リフトリペア エッセンス

◀クリスタンス ホワイトリペア エッセンス

パラビオ▶ ACクリーム サイ

メイクアップ

▲パラビオ

▲グランティアEX

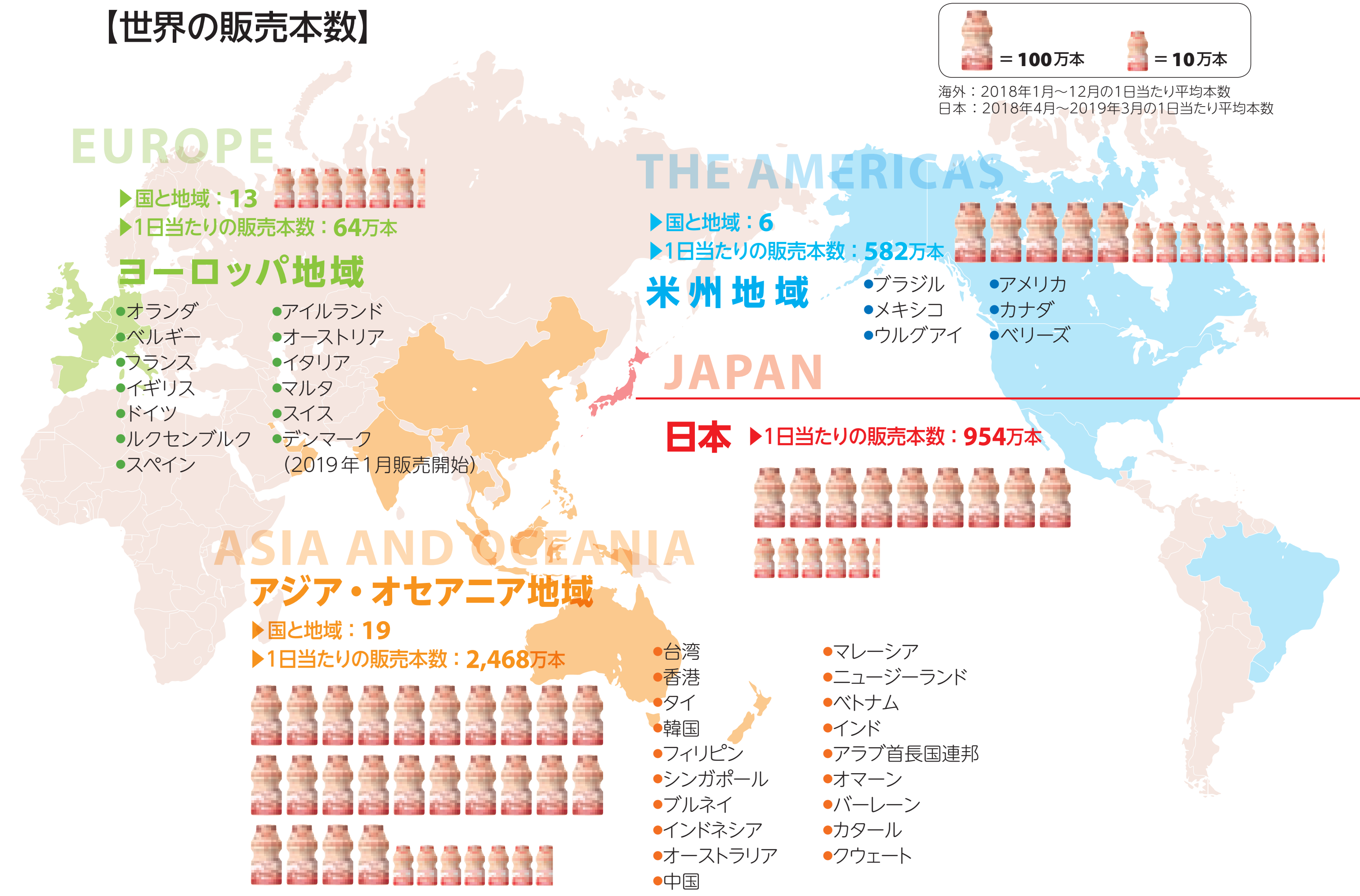
ボディケア

POSHMAMA▶
（左：薬用ハンドクリーム
右：ファミリーサンスクリーン®）

Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む39の国と地域(2019年3月末現在)で、
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っており、
世界中で毎日4,000万人を超える方々(2019年3月期 1日平均販売本数4,067万本)に
ご愛飲いただいています。

【世界の販売本数】



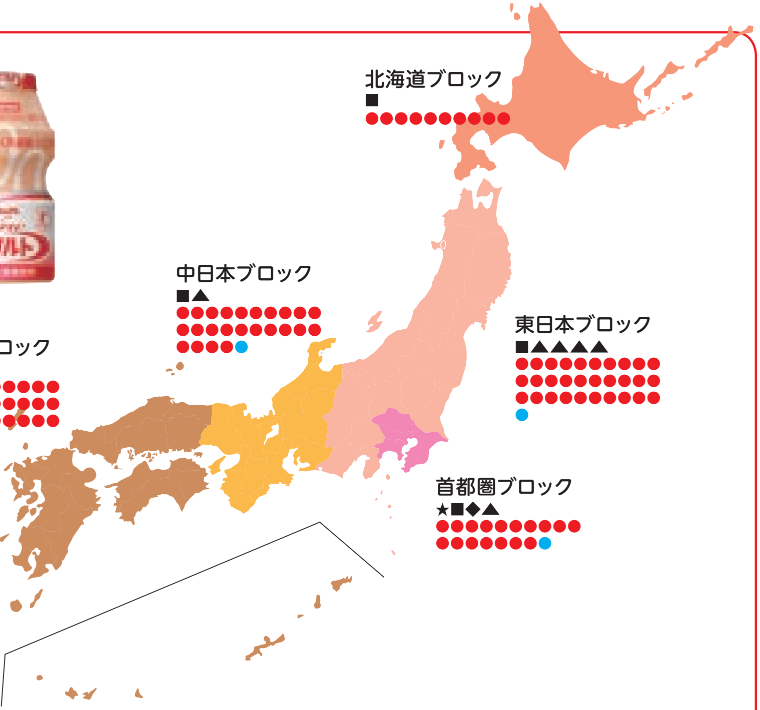
株式会社ヤクルト本社

ヤクルト本社
★本店：1　■支店：5
◆研究所：1　▲工場：7

●販売会社 113 社
（うち連結子会社 26 社）

ヤクルトレディ　約 33,800人
ヤクルトビューティ　約　4,900人

●ボトリング会社 5 社（連結子会社）



【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社岡山和気ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ビー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 有限会社広島保険サービスセンター
- 株式会社はこだてわいん
- ヤクルトロジスティクス株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
- 大船渡ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 武蔵野ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 京北ヤクルト販売株式会社
- 湘南ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 福井ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

Information

会社概要

商　号	株式会社ヤクルト本社 (Yakult Honsha Co., Ltd.)
設　立	1955年4月9日
本　店	東京都港区東新橋1丁目1番19号
電　話	03(3574)8960(大代表)
資本金	311億17百万円
従業員	2,876人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者302人および嘱託132人を含んでいます。

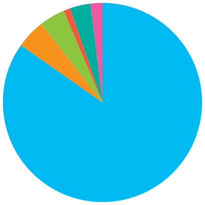
株式の状況

発行可能株式総数…………………… 700,000,000株
発行済株式総数…………………… 171,045,418株
株主数……………………………………… 24,082名

所有者別分布状況

金融機関	46,499千株	27.19%
証券会社	808千株	0.47%
その他の国内法人	47,096千株	27.53%
外国法人等	39,729千株	23.23%
個人その他	26,361千株	15.41%
自己株式	10,550千株	6.17%

所有株式数別分布状況



100,000株以上	144,946千株	84.74%
50,000株以上	8,291千株	4.85%
10,000株以上	7,203千株	4.21%
5,000株以上	1,682千株	0.98%
1,000株以上	5,969千株	3.49%
1,000株未満	2,950千株	1.73%

役員（2019年6月19日現在）

代表取締役社長	根岸　孝成	**取締役**	今田　正男	**常勤監査役**	阿部　晃範
取締役	成田　裕	**取締役**	リチャード ホール	**常勤監査役**	山上　博資
取締役	若林　宏	**取締役**	安田　隆二	**監査役**	奥平　哲彦
取締役	石川　文保	**取締役**	福岡　政行	**監査役**	谷川　清十郎
取締役	伊藤　正徳	**取締役**	前田　典人	**監査役**	小林　節子
取締役	土井　明文	**取締役**	パスカル イヴ ドゥ ペトリーニ	**監査役**	吉田　宏一
取締役	林田　哲哉	**取締役**	戸部　直子	**監査役**	手塚　仙夫
取締役	平野　晋				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ダノン プロバイオティクス プライベート リミテッド	10,612	6.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,063	4.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,707	4.51
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,946	2.31
松尚株式会社	3,417	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,917	1.71
キリンビバレッジ株式会社	2,458	1.44
株式会社みずほ銀行	2,186	1.28

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。
上表のほか、当社は自己株式10,550千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、CSR活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。

https://www.yakult.co.jp/

株主優待

当社商品の提供

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま

- 当社商品詰め合わせを贈呈

※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります。
※保有期間3年以上の株主の皆さまは「化粧品」を追加進呈します。

※発送は6月上旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で主催するプロ野球公式戦「株主優待証（外野自由席）」の提供

※外野自由席の販売がない試合（全席指定試合）はご利用できません。

毎年9月30日現在で100～999株所有の株主の皆さま

- 年間4ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 年間24ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告掲載方法	電子公告 https://www.yakult.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F)
(郵便物送付先 連絡先)	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社　事務センター ☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。

Yakult

株式会社ヤクルト本社
証券コード2267
東京都港区東新橋1丁目1番19号
TEL:03-3574-8960（大代表） https://www.yakult.co.jp/

VEGETABLE OIL INK